**地域密着型サービス運営推進会議記録（第５回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 社会福祉法人愛心会　花宝 |
| 施設種類 | 地域密着型特別養護老人ホーム　 |
| 開催日時 | 平成31年　　2月25日　　　10時　45分　～11時30分 |
| 会場 | 地域交流室　花笑 |
| 参加者 | 利用者代表 | 0人 |
| 利用者家族代表 | 　　0人 |
| 地域住民代表 | 　　　　　 3人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 　　　　　　　　　　　　　　　　1人 |
| 市職員 | 　　　　　　　　　　　1人 |
| 事業者 | 　　　　　　　　　　　0人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 現在の利用状況、事例　資料現在の利用状況について≪現在の利用状況報告≫現在の入居者情報は、3つのユニットの人数を合計しまして23名となっております。≪入居者様の詳細内訳≫７６歳～８０歳が2名、８１歳～８５歳が6名、８６歳～９０歳が９名、９１歳～９５歳が6名です。要介護度では介護度３が9名、介護度４が8名、介護度５が6名です。介護度の更新により、介護度４と介護度５にそれぞれ1名ずつ上がっている状況です。新しいユニットである「桜」が開所となり、新規の入居者様が4名。しかし、1月20日に、緊急で入られた入居者が昼間も夜も殆ど寝ない状態で職員も交代で対応したのですが、最後は他の入居者の部屋へ入って暴力を奮ったため、残念ながら退居となりました。≪花宝におけるインフルエンザ感染予防対策≫今年に入り、死亡に至った集団感染の事例が幾つかありました。同じ特養の老人ホームなどでは、とても印象に残ったのが兵庫県の養護老人ホームでした。入所者と職員合わせて74名が感染し、7人の方が亡くなられています。ニュースでは段々と下火になってきており、今のところは花宝で感染したという方は1名もいません。ですが、関連施設では感染者が出ている状況が続いているので油断はできません。今年度において実施したインフルエンザ感染予防対策ですが、10月はインフルエンザとノロウィルスの感染予防についての研修、11月は職員全員と入居者中、アレルギーがある1名を除く全員に予防接種、12月は職員全員業務中のマスク着用の義務化、面会者のマスク着用と手指のアルコール消毒を実施しています。1月には正月の面会ラッシュ後以降は、面会を原則禁止とし、面会希望者はマスクを着用し、1階にある相談室にて面会となりました。2月は再度インフルエンザに関する研修を実施しています。その他では、各ユニットごとの床、手すり、テーブルや椅子のアルコール清掃を毎日行い、面会を禁止している家族への近況報告。病院受診における外出時にはマスクの仕様と帰所後の手洗いの徹底、高齢の面会者に対する検温の実施もしています。風邪かと思う程度の症状の場合でも、個別隔離による様子見をしています。≪感染対策の一環として行っている職員の出勤制限について≫家族にインフルエンザと思われる発熱者が出た時点で報告を義務付け、その時点で出勤を停止。最初の発熱者の熱が下がった日から3日間で、この間に他に感染者が居なければ出勤再開となります。本人が感染した場合、同様の対応となります。≪質問事項≫面会時、見舞いの品として飲食物の持参はいいのでしょうか？基本、こちらで預かることになります。しっかりとしている人なら、個室で食べていただいたりなどしていますが、飲み込みなどが難しい人の場合はお断りしています。代替の個人負担額はいくらになりますか？段階が１～４まであるのですが、１段階は生活保護を受けている方の段階で、今のところ当てはまる人はいません。この段階は、その人の収入や資産を予め市役所に申請してもらったりしています。２，３段階では、食事代、部屋代が割引となり、４段階ではそれらの割引はありません。大体ではありますが、12～3万代が平均的です。生活保護を受けている人でも入れますか最低限の利用負担金で入ることが出来ます。しかし、全ての段階の人に共通しているのですが、病院受診などももちろんあるので、別途料金が必要となります。それでは今回はこれで終了となります。貴重なご意見をありがとうございました。次回もよろしくお願いします。 |
| 議題民生委員管理者民生委員管理者民生委員管理者 |